



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第317号

2017年5月8日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

「市庁舎建て替え問題」が市長選の一大争点に

今月14日告示、21日投票で八千代市長選挙が行われます。この市長選挙に、5人が名乗りを上げ、舌戦を展開していますが、そのなかで争点に浮かびあっているのが、市庁舎建て替え問題です。

「財政再建の途中といわれているのに100億円を超えるお金をどうやってねん出するの」「市の公共施設で、耐震診断さえ行われていないというのに市庁舎が優先というのは」「現市長になってから市の借金が増え続けているというのに、又ハコモノ」などなど批判の声が寄せられています。

市庁舎「建て替え」費用は105億円にも

これまで市の計画は、「耐震補強・改修」です。その費用は、約30億円と見込んでいました。ところが現市長は、熊本地震で震度7が複数回発生し庁舎が使用不能になったとして、「市民・職員の安全確保を最優先に考えるなら、建て替えに絞って調査・検討を進めなければならない」と、庁内にプロジェクトチーム発足させ、わずか1カ月で計画変更を発表しました。

市は建設費用として、毎年5億円6年で30億円を積む基金条例を制定しました。しかし、現市長になってから毎年のように借金は増え続け、この4年間で38億円増の573億円になっています。限られた財源のなかで、新川ハコモノ計画（当初事業費71億円）を上回る105億円の事業費は、市民の暮らし・福祉の予算を圧迫することは明らかです。



しかも、市民が日常利用している公共施設15か所は、いまだに耐震診断が行われず、その予算化もされていません。市民から「市のやるべき仕事の優先順位が間違っていないですか」との意見が上がっています。

アンケートに「耐震補強・大規模改修」の選択肢除外

昨年12月議会で総務企画部長（当時）は、総務常任委員会で、「耐震補強・大規模改修」は選択肢の一つと明確に答弁しているのに、現市長は、遮二無二「建て替え」ありきで突き進んでいます。

5月下旬に実施予定の市庁舎建て替えアンケートには、「耐震補強・大規模改修」の選択肢が含まれていません。3月議会で、三田議員が「設問に入れるべき」と求めていたのに除外しました。

市民の意見を公正に問わないアンケート中止を求めるとともに、「建て替えありき」で進める勢力に、市民の厳しい審判を下しましょう。